

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年08月30日

計画の名称	旭駅周辺地区の安全・安心まちづくり(重点)(防災・安全)											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度(5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	高知市,高知県											
計画の目標	<p>旭駅周辺地区においては、木造老朽住宅が密集し、地震時における倒壊や延焼の拡大のおそれがあるほか、道路が狭隘であり、避難や消火活動が困難であるなどの防災上の課題を抱えていることから、南海大震災に備えた喫緊の政策的課題として、「安全・安心まちづくり」に向けた取り組みを進めている。</p> <p>中でも、地震時等に著しく危険な密集市街地(H24.10 国土交通省公表)に位置付けられている下島町、中須賀町、水源町については、不整形な狭小な宅地も多く、併行して行う住宅市街地総合整備事業のみによっては、防災上の課題を解消することが困難であることから、土地区画整理事業により街区の再編を図り、安全な市街地環境への改善を進めるものとしている。</p>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	4,256	A	4,255	B	1	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	旭駅周辺地区に存する著しく危険な密集市街地の解消割合を0%(平成30年)から21%(令和4年)に増加させる。 旭駅周辺地区に存する危険密集市街地(下島町、中須賀町、水源町)の事業完了面積を算出し、全体に占める解消割合を算出する。 危険密集市街地解消率 = (事業完了面積ha) / (旭駅周辺地区に存する危険密集市街地ha)	0%	21%	21%
2	下島地区、中須賀地区の宅地が有効利用されている割合を0%から48%に利用促進させる。 下島地区、中須賀地区の使用収益開始後に住宅や商業施設として建築行為を行う権利者数を算出し、全体に占める割合を算出する。 宅地の有効利用率 = (使用収益開始後に土地区画整理事業76条申請を行う権利者) / (地区内総権利者数)	0%	33%	48%
3	通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を0%(平成30年)から29%(令和4年)に向上させる。 通学路の安全対策が必要である(都)円満橋蛸橋線の歩道整備完了延長を算出し、全体に占める解消割合を算出する。 歩道整備率 = (歩道整備完了延長m) / (歩道整備計画延長m)	0%	0%	29%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
・高知市強靱化計画2015に基づき実施される要素事業：A全て・第二次高知中央広域定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A全て														

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	高知市	直接	高知市	-	-	下島土地区画整理事業	都市再生区画 3.2na	高知市						245	-		
	A13-002	市街地	一般	高知市	直接	高知市	-	-	中須賀土地区画整理事業	都市再生区画 8.1ha	高知市						3,505	-		
											小計						3,750			
道路事業	A01-003	街路	一般	高知市	直接	高知市	区画	改築	中須賀土地区画整理事業 (都)円満橋堂橋線	区画整理 8.1ha	高知市						505	-		
											小計						505			
											合計						4,255			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
—	令和6年8月
	公表の方法
	高知市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	土地区画整理事業の整備進捗に伴い、著しく危険な密集市街地の解消や通学路の安全確保により、安全な市街地環境への改善が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
密集市街地の解消や宅地の有効利用、通学路の安全対策については、旭駅周辺地区の安全・安心まちづくり（第2期）（重点）（防災・安全）（計画期間：令和5年度～令和9年度）において、引き続き実施する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	21%
	最終実績値	21%
2	最終目標値	48%
	最終実績値	48%
3	最終目標値	29%
	最終実績値	29%

(参考様式3) 参考図面(防災・安全交付金)

計画の名称	旭駅周辺地区の安全・安心まちづくり(重点)(防災・安全)	
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象 高知市,高知県

